

○出席者 委員10名（校長含む）中6名が出席（他、2名が書面回答）

学校側出席者：教頭・事務部長・各部長・各科長 8名

○議事

- （1）学校運営に関する評価について
- （2）予算執行に関する事項について
- （3）来年度に向けた改善等の提言について

〔協議の概要〕

●「令和6年度の具体的な学校経営目標・計画」各項目に対する評価（ABC）

- 1 主体的・対話的で深い学びによる資質・能力の育成 → 【B】
- 2 健やかな心身の育成と人間力の向上 → 【A】
- 3 安全安心で快適な学校づくりのための施策の推進 → 【A】
- 4 学校の魅力化と情報発信（開かれた学校づくり） → 【B】

（委員） ボランティアに参加する生徒数の数値目標は達成できたが、参加する生徒が固定化していることが課題とのことだが、固定化は悪いことではないし、固定化するものである。ボランティアに参加するという意思を尊重して評価すればよい。

（委員） 図書室での図書の貸出冊数は昨年度と比べて大きく増えており、目標値も超えている。授業での図書室利用が目標値に達していないとのことだが、中間期より確実に増えている。インターネットで情報収集することが増えている中、図書室利用が増えているのだから、評価に値すると思う。

（委員） 部活動への参加者が増えていることは、よいことだと思う。学校に活気があることがよい。

（委員） 国際交流について、姉妹校にこだわらなくてもよいのでは。オンライン等も含めて、様々な国際交流の方法がある。姉妹校にこだわらないほうが、学校も計画しやすいのではないかな。

（委員） 交流には国際交流だけでなく地域交流も含んでもよいのでは。「行学」で地域の人と一緒に頑張って頑張っている。学校経営目標の具体的な取組のどこかに「地域」という文字を入れてほしい。

（委員） 先生方の実務が多く多忙なので、業務軽減や生産性が上がることも盛り込んでいけばよいと思う。

（委員） 学校自己評価アンケートに、学校に期待することを自由記述で回答していただいてもよいのではないかな。

（委員） スクールポリシーの学びの内容・方法に、国際交流についての記載があってもよいのでは。求める生徒像については一般的な内容なので、もう少し東高生として特色のある生徒像があってもよい。

（委員） 進学でいったん県外へ出ても、その後地域に戻り地域で活躍する人材の育成をお願いしたい。

（委員） 地元の医療を支える看護師の養成をお願いしたい。